

## 広島高速4号線 西大橋



発注者：広島高速道路公社  
所在地：広島市西区  
種別：道路橋  
形式：7径間連続斜張橋  
橋長：476.5m  
幅員：有効18.7m（標準部）～25.9m（拡幅部）  
支間：40.0+88.0+4@78.0+35.0m  
業務範囲：実施設計  
竣工：2001年

広島市街地と山陽自動車道を結ぶ高速4号線の市街地西側に位置する太田川放水路に架かる橋梁である。背景の山並みと調和し、広い河川空間のアクセントとなる7径間の連続斜張橋で高速4号線のシンボルとなる橋梁である。本橋の構造形式は、6本の塔から各4本の1面吊ケーブルで主桁を吊下げその大偏心引張材によって、主桁の応力改善を図る意味においてエクストラドード橋の一種ともいえる。架設の便も考慮し、桁自重は桁のみで成り立ち、更に、桁自重を含む死荷重による応力を、ケーブルプレストレスにより減少させ、活荷重には連続桁に近い挙動を求めるといふ、実用的、合理的な形式である。